

Summer Technic

ショップ店員とSEXまで至った流れ

～～夏に効果的なテクニック公開～～

著者・雪麻呂

【ショップ店員とSEXまで至った流れ】は著作権で保護されている著作物に当たります。

●本誌の取り扱いについては以下の点にご注意ください。

- ・本誌の著作権は、発行者雪麻呂及びブレンファースト（以下著作者）にあります。
- ・著作者の許可なく、本誌の一部または全部を、「複製、流用、転載、翻訳、転売する事」を禁止します。

又、これらの行為が発覚した場合は法的手段を執る場合もございますのでご了承下さい。

●免責事項

本誌の著作者は、全ての読者に結果を保証するものではありません。本誌により、いかなる損害が発生しましても、一切の責任を負いません。

すべて自己の責任でおこなうこととします。

雪麻呂です。

さて、このレポートは

私がSEXをしたある女性についてのお話しをしますね。

名前を仮にさやか(ショップ店員)としておきます。

さやかとSEXに至るまでの流れを事細かに公開します。

- メールのやり取り
- 電話でのアポ取り
- デートでのやり取り
- ホテルまで誘う流れ

・私とさやかの間に流れる空気

・心理の変化

など伝われば良いなと思ったので出来る限り細かく書いています。

彼女とSEXに至るまでには節目、節目にポイントがあります。

そのポイントの説明など

私が特に意識した点についてもお話ししていきます。

あなたが女性とデートをする時の参考になればと思い書きました。

どうか最後まで読んで頂ければ嬉しいです♪

——はじまり——

私とさやかは飲み会で知り合いました。

飲み会。

飲み会と言うと合コンを想像するかもしれませんが、

合コンとはちょっと違う感じです。

私の友人、健一(仮)が女の子2人と飲んでいるところに

私がたまたま呼ばれたんです。

綺麗に言うと

偶然の出会い！

とも言えますね(笑)

何故なら、私が健一に聞きたいことがあって電話したら、

『今、女の子2人と飲んでるから来ない？』

と誘われたので私も暇だったので行ったんです。

私が健一に聞きたいことがなければ電話をしていません。

電話をしていなければ出会う事はなかった女性なんですね。

だから、偶然

さて、その飲み会は私が到着してから1時間ぐらいで終了しました。

短いですね。

まあ、私が到着するのが遅かったのもあるんですが、

女性2人にはその後、クラブに行くと言う予定があった。

だから、私が到着してから1時間でお開き。

とりあえず、

私は自分の隣に座っていたさやかが自分の好きなタイプでしたし、

連絡先の交換はしましたので

最低限必要な事(連絡先の交換)は出来ていたのでは

1時間と言う短い飲み会でも良かったです。

ちなみにその時に女性達から

『この後、一緒にクラブに行こうよ!』と誘われました。

さて、

あなたならこのように誘われたらどうしますか？

誘いにのりますか？それとも断りますか？

私達は

『俺たちはこれから2人で話したい事があるし居酒屋に行くよ。
でも、もしかしたら飲み行ったあとクラブに行くかもしれないから
その時は連絡する。』

と言ってクラブの誘いは断りました。

人によっては誘われているのだからチャンスだと思って
クラブに行くかもしれません。

しかし、私と健一はその後の展開を考えて断りました。

私達がクラブを断った理由は以下です。

理由・・・クラブに行ったからGET率が上昇する訳ではない

クラブって音楽がガンガンに流れていますよね。
だから、あまり会話にならない。他愛もない会話をするぐらいです。

クラブでナンパをした事がある方なら分かると思いますが、
特定の女の子とずーっとクラブ内で話すのは大変です。

会話をするのにも体力がいるので疲れるんです。

会話以外にする事のメインは踊ること。

でも、正直私はクラブで踊るのが苦手です。

何故なら下手くそだから(笑)

ちょっと照れもあるんですよね。
まあ、下手でも楽しければ良いですよ。

酒を飲んでテンション高く盛り上がるのが好きな方なら良いですが、私は酒があまり強くないのでそれもちょっと微妙です。

踊るのが得意だったりするのなら自分のアピールになりますが、踊るのが下手な私はアピールにもなりません。

それに酒も弱いのでクラブに行ったら、逆に印象が落ちてしまう可能性がある。

そう感じたので、クラブに行くことを断った。

これが一番、大きな理由です。

印象が落ちる可能性がある場所へは
例え、女性からの誘いでも行かない方が良いですよ。

これはデートの時も言えることです。

女性が行きたいと言う場所でも自分の印象が落ちそうな場所へは行かない。

これは大切な事だと私は思っています。

ちなみにクラブに行ったら印象が下がると書いていますが、これはあくまでも私の場合です。

クラブに慣れていたりダンスが得意、お酒が大好き、ハイテンションと言う方は印象が上がりGET率が上昇するでしょう。

あと、私はこの場面ではクラブに行くのは拒否しましたが、クラブに行くことが嫌いと言う訳ではありません。

私がクラブに行くのが好きな場面は男と行く場合です。

はい。

出会いを目的として男友達と行く場合は好きです。

要するにクラブナンパって事ですね。
クラブナンパはいろいろ方法がありますが、

私の方法は踊っていない女の子に声をかける。
酒を飲んで椅子に座っている子なんかは特に良いです。

クラブナンパは女の子の反応が非常に良いです。
まず、無視はされませんし連絡先が聞ける確率が高い。

だから、出会いを目的とするならクラブは好きな場所ですね。

話しを元に戻します。

要するにクラブにさやか達と一緒に行って、

印象を上げられる確率が低いと踏んだ私達は
クラブに行くことをとりあえず拒否しました。

クラブと一緒にいくよりも

クラブと一緒にいかないことを選んだ方が
最終的なゲット率はあがると考えたのです。

で、その場は解散。

すると

飲み会が終わった後、

すぐにさやかの方から最初のメールが届きました。

『さっきは楽しかったです。クラブに来る時は連絡して下さいね。』

と。

相手から最初のメールが来ると言うのは反応の良い証拠です。

とりあえず、この時点では次に繋がりそうな雰囲気十分に漂っています。

で、私が返信したメールは以下の通りです。

『俺も楽しかったよ。クラブは慣れてないと疲れるかもしれないけど
楽しんで♪俺もあとで行くかもしれないけどそんな時はよろしくね!』

さやかもクラブはあまり行ったことがなくて、
今日は久しぶりに行くらしいのでこのようなメールを送りました。

なんの変哲もないメールですよ。

只、ポイントもあります。

それは

- 私達があとで来るかもしれないと意識させているところ。
- 質問を一つも入れていないところ。

この2点が挙げられます。

私達があとで来るかもしれないと意識させているところ。

何故、これがポイントかと言うと、
クラブではナンパをしている男性が多いです。

ですので、ナンパされる可能性が十分にある。
何人ものいろんな男性にナンパされていれば

私達の印象は薄れていく。

でも、あとで行くかもしれないという意識を少しでも与えておけば、

印象の薄れていくペースは緩やかなものとなります。

後で来るかもしれない！

これを相手の意識の中に入れておく。

これをしておくだけでいろいろな抑制効果もあります。

だから、あとで行くかもしれないというのを改めてメールで伝えているんです。

で、もう一つが

質問を一つも入れていないところ。

これもポイントです。

これからクラブに行くのです。

久しぶりとか慣れていないからと言っても

せっかくクラブに行っているのですから、
クラブを楽しみたいと普通は思うものです。

当然、

クラブの中ではメールのやり取りをするような状況ではなくなりますよね。

むしろ、クラブにいるのに質問メールとかいろいろ来たら

うざい

と思うものです。

だから、メールのやり取りをするような状況ではない。

メールは次の日でも十分にできるのです。

だから、この段階では質問メールを入れることはやめたんです。

なんの変哲もないメールの返信ですが、

『俺も楽しかったよ。クラブは慣れてないと疲れるかもしれないけど楽しんで♪俺もあとで行くかもしれないけどその時はよろしくね!』

上記のメールの中にはそんな意味が込められていたのです。

そんな訳でさやかとのメールのやり取りはこの日はこれで終了です。

私達はクラブに行くこともなく、
軽くお茶をしてビリヤードをして帰りました(笑)

で、次の日から私はさやかとちょこちょこメールをしていました。

只、メールは返ってきますが、さやかの返信がかなり遅い。

返信が1日遅れぐらいのペースです。

メールの中でデートの誘いを振るタイミングがあったのですが、

いま一つ、誘いを振っても微妙な感じだったのです。

微妙な段階で誘いを振ってもOKされることはあります。

只、私はそれよりも確実性を上げてから誘う事にしましたのです。

ちなみに私はこの段階まででメールはしているけど電話はしていません。

女の子にはタイプがあつて

メール好きな子

電話好きな子

メールと電話と両方好きな子

メールと電話と両方嫌いな子

と分けられます。

私はさやかと連絡先交換をした時にひとつ確認し忘れていたことがありました。

それは『メールと電話どっちが好き？』か聞いておくことです。

彼女の答えによって使うツールを変えていくのですが、
私はつい、忘れてしまいメールのみの攻略に偏っていました。

さやかはメールだと返信が遅い。

と言うことはメールが嫌いな可能性もあります。

いろいろ考えた結果、電話で一度、話してみることにしたんです。

出会ってから1週間後ぐらいの事です。

——さやかとの初めての電話——

私が電話で話す時に心がけることは相手の気持ちを考えて話すことです。

それにより、女性が話したくさせるように仕向けて行く。

話したくさせるには

その話しに興味がある事を伝えたり、

リアクションや反応を女性の気持ちを考えたものにする事をこころがけます。

楽しい雰囲気を作る事を心がける。

喜怒哀楽の感情が伝わるリアクションを心がける。

リアクションは大きめにする

そして、女性が話したことに対して自分なりの考えを伝えたりします。

さて、電話で話していると最近、最悪な事があったときやかが話します。

どんな事かと聞くと友達と飲みに行ったんだけど、
終電で帰れなくなってタクシーを使って家の近くまで帰ってきたとの事です。

タクシー代が飲みに行った場所から1万円もかかったそうです。
タクシー代に1万円もかかった事が最悪だったと言う話しです。

この話しを聞いてどう思いますか？

私はこう思いました。

一緒に行った友達はどうしたの？

と。

で、そのままその疑問を聞いてみました。
すると友達は家が近くだから家に帰ったとの事です。
その答えから私はこんな疑問が湧きます。

私『えっ、それなら友達の家泊まれば良かったじゃん！』

さ『でも、私そんなに軽くないから・・・』

私『えっ、軽くない？』

さ『あつ、その友達って男の人なの・・・』

私『あ～そう言うことか。』

話しながら感じてはいましたが、

さやかは最近、飲みに行ったのは男でした。
男の家の近くまで飲みに行って、終電で帰れなくなってタクシーで帰宅。

私はここで頭の中で考えました。

きっと、その男はさやかを自分の家に連れ込みたかった。
でも、失敗して帰られてしまった。
終電がないためタクシーで逃げられる。
それも1万円も使って逃げられる。
1万円を使ってでも帰りたいと思わせる状況

一体、どんな状況でそんな形になるのか私は大いに聞いてみたかったのですが、
とりあえず、そこは今は突っ込むべきところではありません。

あくまでも私の想像ですが、その男は
強引に家に連れて行こうとした感じではないのかな？
と私の脳内では導き出されました。

そして、
私のさやかへのデートの誘いはそこで決定しました

その後、私はさやかと少し話した後、デートの誘いをしました。

で、デートに誘うクローゼットトークの一番のポイントはこれです。

『じゃあ、今度飲みに行こうよ。もちろん、俺は遅くても終電の1時間前には
ちゃんと帰すよ！1時間前にお開きにすれば十分に問題なく帰れるでしょ！？』

はい。

分かりますよね。

終電の1時間前に帰す

と言う所がポイントです。

案の定、彼女はそれを聞いてOKを出しました。

そして、彼女の方から

『●日なら空いてるんだけど空いてる？』と言ってきたのです。

無事、デートの約束を取れました。

これは電話で話すことにより、

最近、起こった最悪の出来事の話しを聞くことが出来たので、

スムーズにデートの約束が取れました。

最悪の出来事の話し

↓

最近飲みに行った男が終電で帰してくれなかった

↓

私に対しても同じような不安を感じる

↓

その不安を消して安心させる誘いトークをする

終電で帰してくれないのではないか？という不安を消して遅くても終電の1時間前に帰すよ！と伝える。

これで安心される訳です。

そして、これは終電前に帰すと伝えると体目的でない印象も与える事ができる。

だから、女性はより安心する。

結果、デートの誘いに応じてくれたのです。

只、彼女と電話で話した時に
デートの際にネックになりそうな事を言っていましたね。

それは

さ『でも、私そんなに軽くないから・・・』

と言う言葉。

これは私のアプローチに対して言った言葉ではありません。

前回、デートした男に対しての言葉です。
しかし、彼女は私にこう発言している以上、
私に対して軽いと思われたくないでしょう。

女性の言葉は鵜呑みにしてはいけませんが
一応、注意点として押さえておきます。

そして、もう一つネックになりそうな事は
終電前に帰すからと私、自らから発言しているところです。

これにより体が目的ではないと自らアピールしているので、
ホテルなどに誘う難易度が若干上がってしまっています。

人によっては、
自分が言った事に責任を持って本当に何もせずに帰してしまう
と言う方もいるでしょう。

もちろん、
それで誠実さをアピールして次に繋げる方法で成功する可能性もあります。

只、しっかりと考えて行動すれば今回のデートの時に最後まで持っていけます。

それでは、次から私がどのようにして最後まで行ったのか？

その流れをお話ししましょう。

私はさやかがかなり好きなタイプだったので
かなり丁寧なデートコースを選択しました。

デートの開始は6時半

で、調べておいた個室居酒屋を当日に予約。

でも、その日は混んでいて9時半にならないと入れないそうです。

本当は個室居酒屋→カラオケ

と言うコースを選択しようとしていましたがちょっと変更。

軽い食事→カラオケ→個室居酒屋に変更です。

で、会ってパスタを食べながら1時間半ぐらい会話

そこで結構、和みました。

さやかはパスタと一緒にカクテルを軽く飲んでいました。

で、次にカラオケへ。

個室居酒屋のところが勝負かなと思っていたので

ここではスキンシップを軽くしながら和むことに力を入れていました。

軽いスキンシップは結構しておきました。

髪に触ったり軽いマッサージをしたりですね。
あと、手品とかで驚かせたりと言う感じです。

ちなみにカラオケなのに歌は1曲も入れていません(笑)

酒も飲んでいません。で、1時間でカラオケ退出。

メインの個室居酒屋へ

9時半

予約していた居酒屋到着。

ちなみにこの居酒屋はネットで調べておいたのですが、
カップルシートと言う席があって2人で密着して座れる。
そして、外の景色が見れて眺めが良いところ

と書いてありました。

実際に写真を見てもかなり良い雰囲気。
今の状態で一緒に行けば
さらに親密になれることは間違いないと踏んでいたのです。

ムード作りには最高のところ。

それが私が抱いていたイメージ。

が・・・

私達が通された席は

只のテーブル席

．．．

おい。。orz

店員に

『カップルシートは空いてないんですか？』

と聞いたら

満席です。

と言う返答。

何と言う凡ミス．．．

私は2人で予約すると言っただけで
カップルシートは指定していなかったのです。

ですので、単なるテーブル席

しかも、思ったより景色も良くないし．．．

これは密着とかの問題ではありません。

なにせ対面で座るのですから。

店の雰囲気は暗くて良いのが救いでしたが完全なミスでした。

しかし、もう入ってしまったからにはどうにかするしかない。

ここで私は考えました。

とりあえず、和んで次の誘いに持っていこうと。

はい。

食事とお酒を飲みながら会話をして時間が11時を過ぎたころ。

さやかに聞きました。

『終電は何時？』

と。

すると12時半ぐらいとの答え。

さて、今は夏です。

夏と言えば、暖かい。

暖かいと言うか暑いとも言えますが・・・

で、暖かいと言えば、外を思いっきり使えるわけです。

外を使えると言うのは女性を外に連れ出しやすいと言うことです。

飲みに行った後に散歩から公園と言うコースを導きやすい。

このコースは非常に使えるコースです。

そこで、

『OK！んじゃ、まだもうちょい終電まで時間もあるし、
酔い覚ましも兼ねて軽く外を散歩でもしてから帰ろう。
もちろん、終電前には帰るよ。』

と誘うとOKとの返事。

まあ、終電まで1時間ちょっとある訳ですから余裕です。

で、散歩。

ここで話しながら景色が綺麗な場所へ誘導。

その時に手も繋がります。

夜景を見ながら手を繋いでかなり良い雰囲気になります。

軽くお酒も入っていて、ある程度和んでいて、綺麗な夜景

が揃っていればまず、手を繋ぐことは拒否されません。

そして、これらが合わさればかなり良い雰囲気になります。

で、その後夜景を見終わってから今度は公園へ誘導。

何も言わずに公園に入っていきます。

実際に行ったのは公園と言うか広場のような場所です。

駅からも近い広場。大体10分あれば駅には十分に付ける場所。

さやかにはそれを伝えています。

この時点で時刻は12時。

さやかの終電まであと30分。

駅までの移動を考えると公園での残り時間は20分です。

20分で全てを決めなければいけません。

で、ちょっと座ろうと言ってベンチのようなところに座る。

で、軽くトーク。

髪を撫でたりしながら軽く抱き寄せてみると

もたれかかってくる。

この時点で残り10分ぐらい。

そして、頭を撫でたりしながら抱きしめます。

残り5分ぐらい。

雰囲気としては最高点に達しています。

かなり良いムードです。

で、

ここで一度、我に帰るトーク

私『あっ。やばい。こんな風に抱きしめたらさやかと
もっと一緒にいたくなっちゃうわ。ちゃんと終電で帰しないと。
今日はもともと終電で帰そうと決めてたし、さやかの事は大事に
考えているからこの雰囲気は良くないよね！？』

この様に言う事によりもともと終電で帰そうと思っていた事を強調します。

大事に考えていて体目的ではない事をアピールします。

これにより、さやかが電話で言っていた

『私そんなに軽くないから・・・』という言葉のフォローになります。

そして、終電で帰す約束も守ろうとしていることもアピールします。

しかし、もたれかかって来て頭を撫でられる状況です。

そして、このトークをされると女の子の気持ちはかなり落ちやすいでしょう。

実際にさやかはこう言いました。

さ『でも、私ももっと一緒にいたいよ。それに終電はもう間に合わないかな。』

はい。

これで確定です。

さやかからもっと一緒にいたいという言葉。

これは泊まりOKと言う意味です。

一番ムードが良いところで我に帰るトークをしても、

既にムードが良くて気分が高揚している時など
帰りたくなくなってしまうものです。

そんな訳で

あとは、普通にホテルに泊まりに行って何の問題もなくSEXしました。

さやかと出会ってからSEXに至るまでの話を
覚えている範囲で詳細に書いていきました。

詳細に書いているのでイメージもしやすいですし、
心の動きなども分かりやすいと思います。
実際の状況、心理の微妙な変化など感じて頂ければ嬉しいです。

以上、何かの参考になれば幸いです。

雪麻呂